

第20巻の発刊にあたって

九州産業大学芸術学部研究報告は、芸術学部発足4年後の昭和45年に、本学芸術学会の会則第3条にもとづいて発刊された。以来今日まで毎年発刊を重ねて、今回第20巻の刊行を見るに至った。

大学の主たる目的が研究と教育にあることはいうまでもないが、わが芸術学部は創作という独特の人間の行為を実践し、その方法論を教育研究するという他の学部にはない特色ある分野を担っているといえる。本研究報告が作品の部と論文の部から成るのはその反映である。またそれらの内容についてもこの20年を通して多数の注目すべき作品や論文を掲載して、豊かな実りを見せていることは、多くの人が認めるところであろう。

この第20巻を発刊するに際して、心がけなければならないことは、これまでの成果の上にならぬ更なる発展と飛躍を期することである。芸術の価値は時代をこえて普遍であるけれども、表現の方法や技法等については無限と云ってよいほど探求の分野が残されている。この第20巻が新たな飛躍の起点となることを心より祈りたい。

平成元年2月

九州産業大学芸術学部長

豊 福 孝 行